

2025
2月号

芸術村かわらばん

まもなく終了

萃点 - SUITTEN -

会期 11²⁴月9日(土)～2²⁵月9日(日)

音楽家の永井朋生さんとリトアニア人の舞台美術デザイナー、レナータ・ヴァルチックさんという異なる分野の2人のアーティストによる共同プロジェクトであり、ほか6人のリトアニア人アーティストが参加する展覧会「萃点」、現在好評開催中です。

それぞれのアーティストの作品は廊下や教室に連なるように展示されていて、それぞれの作品ごとにつくられたサウンドは、音と音が連なってそれぞれ自体も一つの作品をつくっています。

芸術村2階の展示スペースを廊下まで余すことなく使った8人のアーティストによる表現の世界。木造校舎の階段を登ると、異次元に旅するような鑑賞体験になると思います。展示期間は2月9日まで。

ここでしか観られないアートの世界をぜひご覧ください。



2月の休館日

定例休館日(月)(火)

3(月)、4(火)
10(月)
17(月)、18(火)
25(火)

11(火)、24(月)は
祝日のため開館



アーティスト滞在日記

コラリー・クリスターリさん、テレザ・ネスニダロワさんの滞在期間が終了しました。

お二人とも、じぶんカフェにしつらえた制作スペースで作業をしていたので、来館された方はその様子をご覧になった方もいらっしゃるかもしれません。滞在中の様子を少しご紹介します。



Coralie Cristalli

コラリー・クリスターリ

2024 2025

滞在期間：12/9～1/29

主な分野

俳句、書道、水墨画

出身地：スイス連邦

コラリーさんは、出ヶ原和紙の工房にて、紙すきを行い、草木をすき込んだり、さまざまな紙の制作も体験されました。会津の冬にたたくむ柿の木が好きだと言うことで、自分ですいた和紙にたわなに実る柿など、何枚もの水墨画を完成させました。また、町内でアート書道を教えるけいぼく・アート書道教室にもデマンドバスで通い、交流をしました。また、年をまたいでの滞在だったため、年越しは会津若松や栃

木県日光、仙台と足をのばし、日本の年末年始を楽しんだようです。



見入っていました。

日本の食材で柚子が好きとのことだったので、柚子を使った鶏団子鍋と一緒に囲み、交流を深めました。



Tereza Nesnidalova

テレザ・ネスニダロワ

滞在期間：1/8～1/31

主な分野

藍染・天然染料・顔料

出身地：チェコ共和国

テレザさんは、柿渋染めの布を

繋いだ大きな布に天然素材の画材をつかった作品を製作しました。

滞在中には、出ヶ原和紙工房やしめ縄づくりを体験され、西会津の伝統的な工芸と素材に興味深く、



滞在アーティストのご紹介



Aislinn Janek

アイスリン・ジャネック

滞在期間：2/2～3/1

専門分野

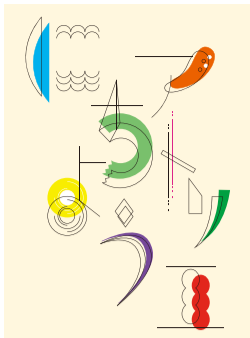
ミクストメディア

ペインティング

1年前に滞在制作をした福島出身の画家・小野有美子さんから紹介でアメリカ・ニューヨークから来町。様々な

画材・素材を組み合わせたミクストメディアアペインティングという分野の作品を制作しています。また、スタンダップコメディアンという一面もあり、どんな方がいらっしやるのか、楽しみです。西会津町滞在中は、出ヶ原和紙の体験もされる予定です。





“にちようアトリエ”は、「美術」を通じて
子供たちに創作・表現を楽しんでもらう場所。

結局、アイスは時間内には出来上がりませんでした。楽しんで遊べたのでよしとしました。芸術村の広い校庭は、誰も足を踏み入れておらず、最高に綺麗で魅力的な遊び場。皆さんも、芸術村でアート鑑賞+雪遊びのコースをぜひどうぞ！



1月、雪がたくさん降ったおかげで、子供達にとっては楽しい外遊びができますね。アトリエでは久しぶりのクッキングメニューとして、「雪に手伝ってもらってアイス作り」ができました。アイスを固める際に、冷凍庫に入れるのではなく、雪に塩を混ぜて冷やすのです。塩を混ぜることで、温度がグッと下がります。この塩雪のおかげで、冷凍庫では何時間もかけて固まるアイスが20分ほどで完成。雪があるから楽しめるアイス作りです。さて、アトリエでの様子がどうだったかというところ。塩雪の準備までは一生懸命でしたが、その後はアイスそっちのけで広い雪原で遊んでしまいました。

1月のアトリエ

にちようアトリエ 2月予定表

2/2 おやすみ

2/9 おやすみ「西会津雪国まつり」開催の日です！

2/16 「プラ板で何つくろう!？」

1月、急遽おやすみとさせていただいたこちらのメニュー、リベンジです！一度はプラ板にチャレンジしたことのある人も多いと思います。今回は図鑑から写しとって、リアルなプラ板作りにチャレンジです！

2/23 「蜜蝋リップクリームをつくろう!」

長い冬、子供も大人も気になる唇のかさかさ。。救世主のリップクリームを、安心な蜜蝋で作ってみましょう！！講師は芸術村スタッフの清野です♪(大人のみ参加もOKです！製作される大人の方は600円の体験料を頂きます)



にちようアトリエは、毎週日曜日 13:30 ~ 15:30 (時間内の出入り自由)、予約不要・参加費無料・年齢不問！誰でも参加できるのでお気軽にお越しください。

スタッフおすすめ
今月の本

ふしぎの国のバード

著：佐々木大河 出版：KADOKAWA



芸術村スタッフオススメの本をご紹介します。今月は清野が担当します。明治の初期に日本を旅したイギリス人女性、イザベラ・バードの旅行記を漫画で描いた作品。歴史の教科書には登場しない、人びとの生活ぶりや価値観、それに出会った彼女の驚きが表情豊かに描かれていて、当時の日本の雰囲気にもふれることができます。東京から北海道までの旅の途中に、会津街道を通っており、上野尻・車峠に滞在した時のエピソードも漫画では紹介されています。書籍の「日本奥地紀行」「イザベラバードの日本紀行」などを呼んでみたくありませんか。

この本は、「じぶんカフェ」にてお読みいただけます。



美味しいものや季節のコトとかいろいろ...

1月の中旬に、歳の神があちこちで開催されましたね。小正月行事といえば、女の正月とも言われ、お嫁さんが実家に帰ったり、家の中では、団子さし、道具の正月もあります。わが家も、以前は、感謝と五穀豊穡を願って、鍬や鎌などの農具に団子をあげていました。歳の神では、書き初めや前年の正月飾り、古くなったお札などが燃やされますね。これもまた、祈りの1つの形だと感じます。



芸術村に滞在していたアーティスト、コラリーさん・テレザさんも奥川地区の歳の神に参加して、冬の風物詩を体験しました。

インスタ日記



ある日の夕方 17 時。芸術村の校庭です。17 時の明るさをなんとなく季節の目安にしています。冬至が過ぎ、日が長くなってきましたね。雪国の冬としてはまだまだ本番はこれからですが、春へと向かう気配を嬉しく感じた日でした。

雪国の春 # 冬来たりなば春遠からじ

【HP】 【Instagram】 【Facebook】 【YouTube】



マワリテメクハ
季節の薬膳ノート
「かぶ」



かぶは、別名「すずな」といわれ、春の七草のひとつにもあげられます。中医学では、大根温める働きがあるので、五臓を補い、お腹を温めて、痛みを緩和や消化不良の解消にもよいとされます。上部にあがった気をおろす作用があるので、のぼせ、熱を持った吹き出物や腫れ物、頭痛などにも。

こんな食べ方がオススメ
カブの薬膳スープ

- 【材料】 かぶ2個・鶏モモ半分・カブの葉さくぎり 生姜千切り・酒大さじ1・塩コショウ少々・クコの実小さじ2
- 【つくりかた】
- ①鶏肉は塩糎で下味を付ける
- ②鍋に油を引き鶏肉を炒める。火が通ったら、酒、生姜、水を加え中火で約20分煮る。カブを加えさらに10分。
- ③カブが柔らかくなったたらカブの葉とクコを加えひと煮立ち。塩コショウで味を整える。

